

平成20年度 第2四半期(累計) 決算説明資料

2008(平成20)年11月

証券コード:9790

福井コンピュータ株式会社

《目 次》

- 1--業績の概況
- 2--経営指標の推移(連結)
- 3--経営指標の推移(単体)
- 4--セグメント情報①－事業の種類別・売上
- 5--セグメント情報②－事業の種類別・損益
- 6--平成21年3月期見込(連結)
- 7--平成21年3月期見込(単体)
- 8--1株当たり純資産額の推移(連結)
- 9--1株当たり当期純利益の推移(単体)
- 10--有利子負債の推移
- 11--株価の推移
- 12--1株当たりの年間配当額の推移

【業績の概況】

売上高 32.8億円 営業利益 0.5億円 経常利益 0.5億円 当期純利益 -1.6億円

《対前期》

売上高---全体で - 3.7億円。建築(- 2.0億円)、測量(- 0.2億円)、土木(- 0.6億円)。
経常利益--- - 3.1億円。

《対計画》

売上高---達成率 87.8%。計画 37.3億円に対し、- 4.5億円。
営業利益---達成率 19.6%。計画 2.5億円に対し、- 2.0億円。
経常利益---達成率 22.1%。計画 2.6億円に対し、- 2.0億円。
当期純利益---計画 1.4億円に対し、- 3.0億円。

【経営指標の推移(連結)】

		平成19年9月	平成20年9月	前期比	平成20年3月
売上高	(億円)	36.5	32.8	-3.7	75.7
営業利益	(億円)	3.4	0.5	-2.9	7.6
経常利益	(億円)	3.7	0.5	-3.1	8.2
当期純利益	(億円)	2.0	-1.6	-3.6	4.4
純資産額	(億円)	62.9	58.7	-4.2	63.9
総資産額	(億円)	82.9	77.7	-5.2	86.1
1株当たり純資産額	(円)	498.32	464.95	-33.37	506.21
1株当たり当期純利益	(円)	15.93	-13.16	-	35.47
自己資本比率	(%)	75.8	75.6	-0.2	74.2
有利子負債	(億円)	—	—	-	-

【経営指標の推移(単体)】

		平成19年9月	平成20年9月	前期比	平成20年3月
売上高	(億円)	36.4	32.5	-3.8	75.3
営業利益	(億円)	3.6	0.5	-3.0	7.7
経常利益	(億円)	3.8	0.5	-3.2	8.2
当期純利益	(億円)	2.1	-2.7	-4.8	4.5
1株当たり配当額	(円)	5	—	-	27
配当性向	(%)	—	—	-	74.6
株価	(円)	817	486	-331	578
株価収益率	(倍)	—	—	-	16.3

【セグメント情報① – 事業の種類別・売上】

単位：億円

	平成19年9月	平成20年9月	前期比	平成20年3月
建築CADソフトウェア	18.1	16.0	-2.1	38.4
測量CADソフトウェア	8.1	7.9	-0.2	17.1
土木CADソフトウェア	5.0	4.4	-0.6	9.8
サポートサービス	2.0	2.1	+0.1	4.1
ハードウェア	1.3	1.3	-0.0	2.7
建設系CAD事業	34.7	31.8	-2.9	72.3
メディカルF事業	0.0	0.0	+0.0	0.0
ITソリューション事業	1.0	0.3	-0.7	1.9
その他の事業	0.8	0.6	-0.2	1.5
合計	36.5	32.8	-3.7	75.7

【セグメント情報②－事業の種類別・損益】

単位:億円

	売上高	営業損益	
建設系CAD	31.8	5.3	○建築CADソフトウェア 建築業界では、昨年6月の建築基準法改正を受け着工件数が減少した影響により、今年度において資金繰りを要因とした倒産・廃業が相次ぎました。そのため法改正対応の取り組みに加え、顧客獲得を目的とした「営業プレゼンセット」の販売及び既存ユーザーへの施策強化を行ないました。 ○測量CADソフトウェア 測量業界では、政府の公共事業削減の影響を受け、厳しい状況が続いておりますが、主に複数本使用顧客に対する優遇策を実施し拡販に努めました。 ○土木CADソフトウェア 土木業界では、地方自治体の建設CALS/ECへの取り組みが進められる中、土木施工業者を対象にEX-TREND武蔵の活用セミナーを開催し、加えて体験版を配布するなど、市場に積極的な働きかけを行ないましたが、暫定税率失効による公共投資額の減少が影響し、新規購入者数が減少しました。
メディカルF	0.0	-1.4	法改正等を機に介護市場は活性化してきており、当社の掲げるメディカルフィットネス構想に賛同される業界関係者は多いものの、市場においては投資が進んでおらず、導入に向けてシステムの有用性や将来性の理解を求めながら営業活動を行ないました。
ITソリューション	0.3	-0.5	建設業向けにはSaasシステム「ARCHITREND Do!Photo」の販売を強化し、報道機関向け出口調査システム「One Click Counter」も首長選などで幅広く利用されました。
その他	0.6	-0.0	(スクール、宿泊予約システム)
消去又は全社	-	-2.7	※ 消去又は全社---各セグメントに配賦不能な収益または費用
合計	32.8	0.5	

【平成21年3月期見込(連結)】

単位:億円

	平成20年3月実績	平成21年3月見込	前期比
売上高	75.7	66.1	-9.4
営業利益	7.6	1.5	-6.1
経常利益	8.2	1.7	-6.5
当期純利益	4.4	-0.5	-4.9

○売上高

全体の売上高のほとんどを占める建設業系CAD事業において、第3四半期以降も建設業界の景気動向は引き続き厳しい状況が予測され、合わせてCADソフトウェア需要の減少が見込まれることから、前期を下回る見込みとしております。

○営業利益および経常利益

経営資源の有効活用とともに引き続き経費削減を行なうことから、費用は減少するものの、売上高の減少額が大きいため、前期を下回る見込みとしております。

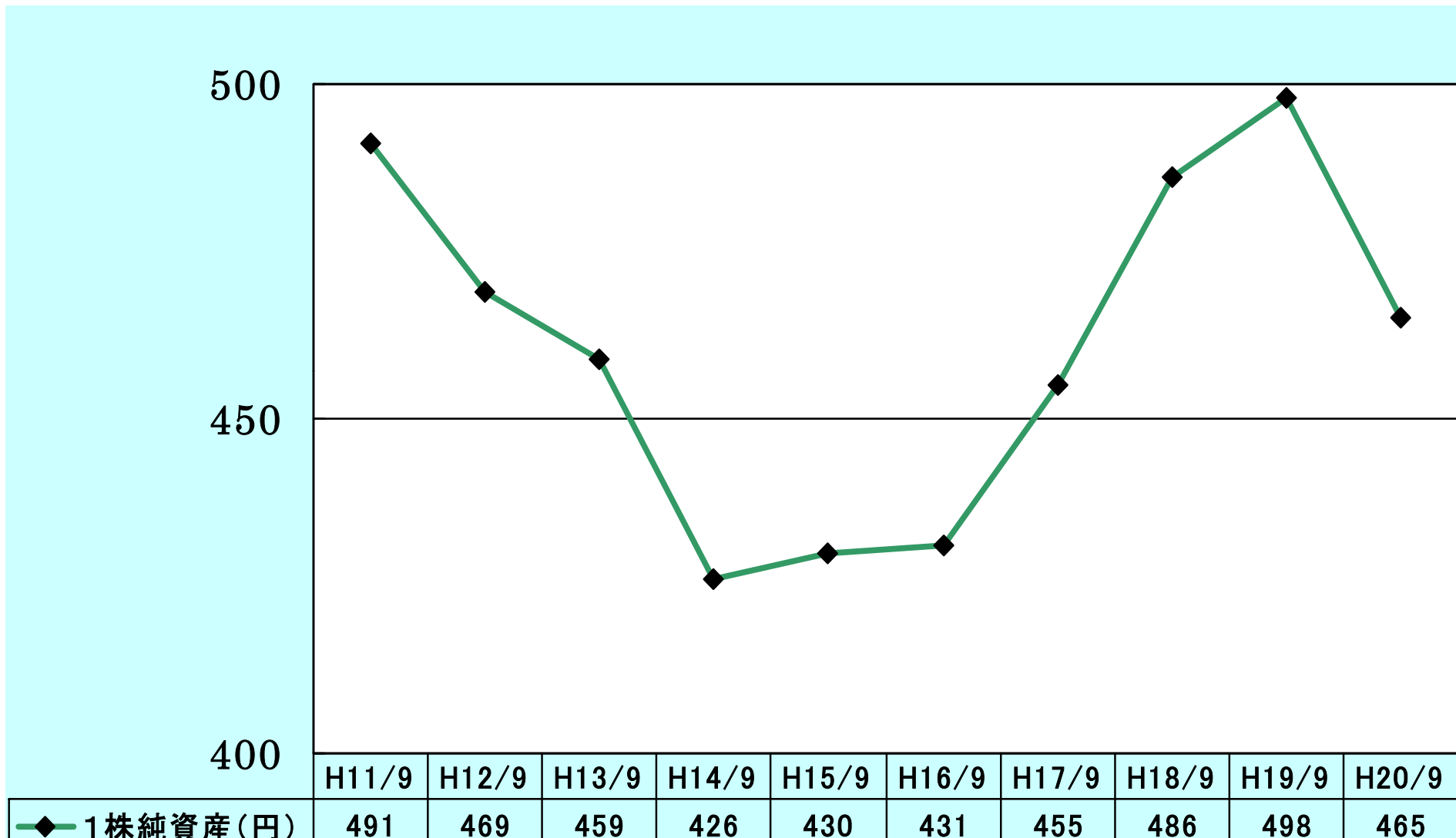
○当期純利益

投資先の民事再生法申請に加え、利益見込みに合わせて繰延税金資産の回収可能性を見直した見込みとしております。

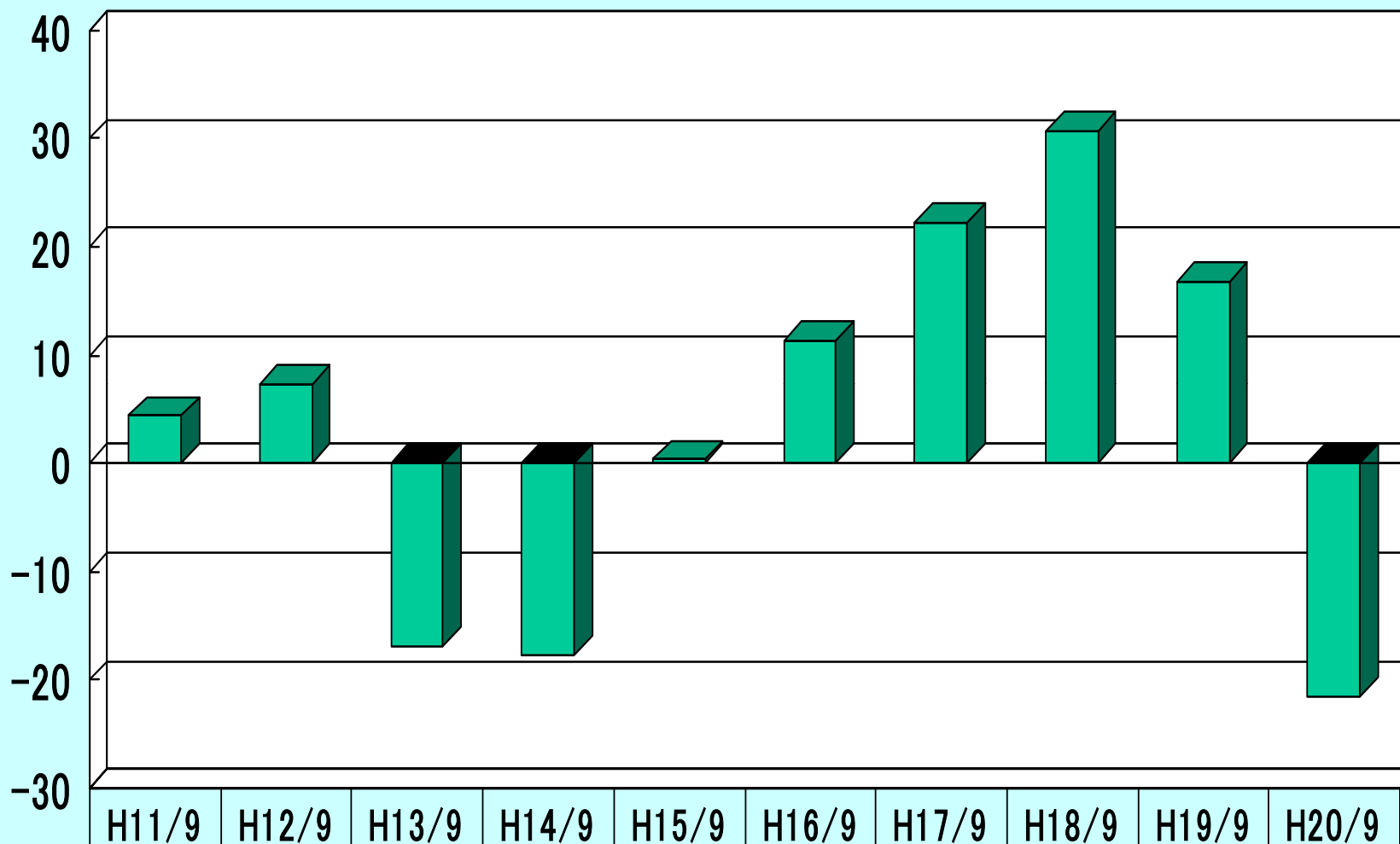
【平成21年3月期見込(単体)】

		平成20年3月実績	平成21年3月見込	前期比
売上高	(億円)	75.3	65.4	-9.9
営業利益	(億円)	7.7	1.4	-6.3
経常利益	(億円)	8.2	1.7	-6.5
当期純利益	(億円)	4.5	-1.8	-6.3
1株当たり当期純利益	(円)	36.19	-14.33	-
1株当たり配当額	(円)	27	0	-27
配当性向	(%)	74.6	-	-

【 1株当たり純資産額の推移(連結) 】



【1株当たり当期純利益の推移(単体)】

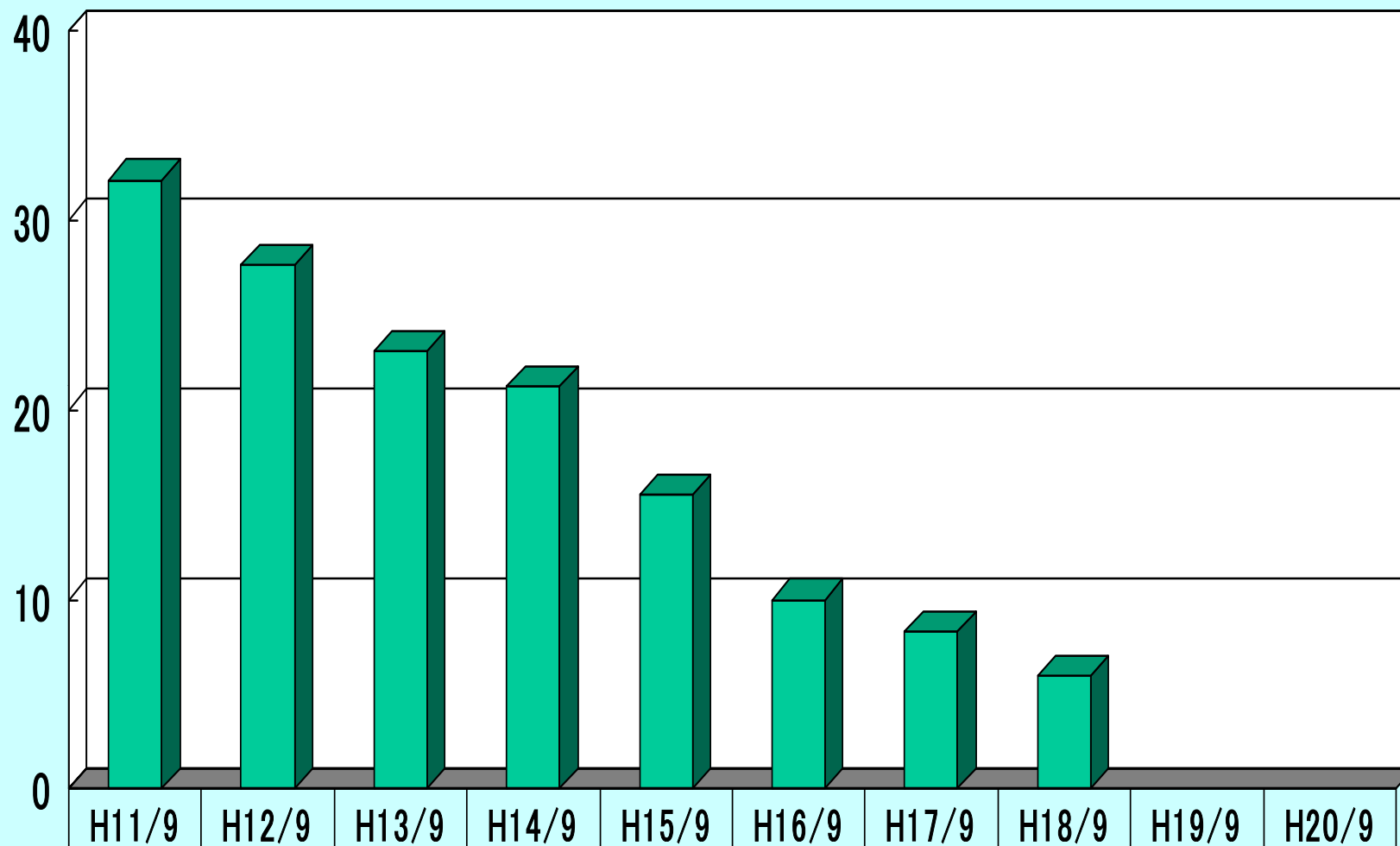


■ 1株純利益(円)

H11/9 H12/9 H13/9 H14/9 H15/9 H16/9 H17/9 H18/9 H19/9 H20/9

4.39 7.36 -16.83 -17.64 0.35 11.39 22.19 30.74 16.81 -21.52

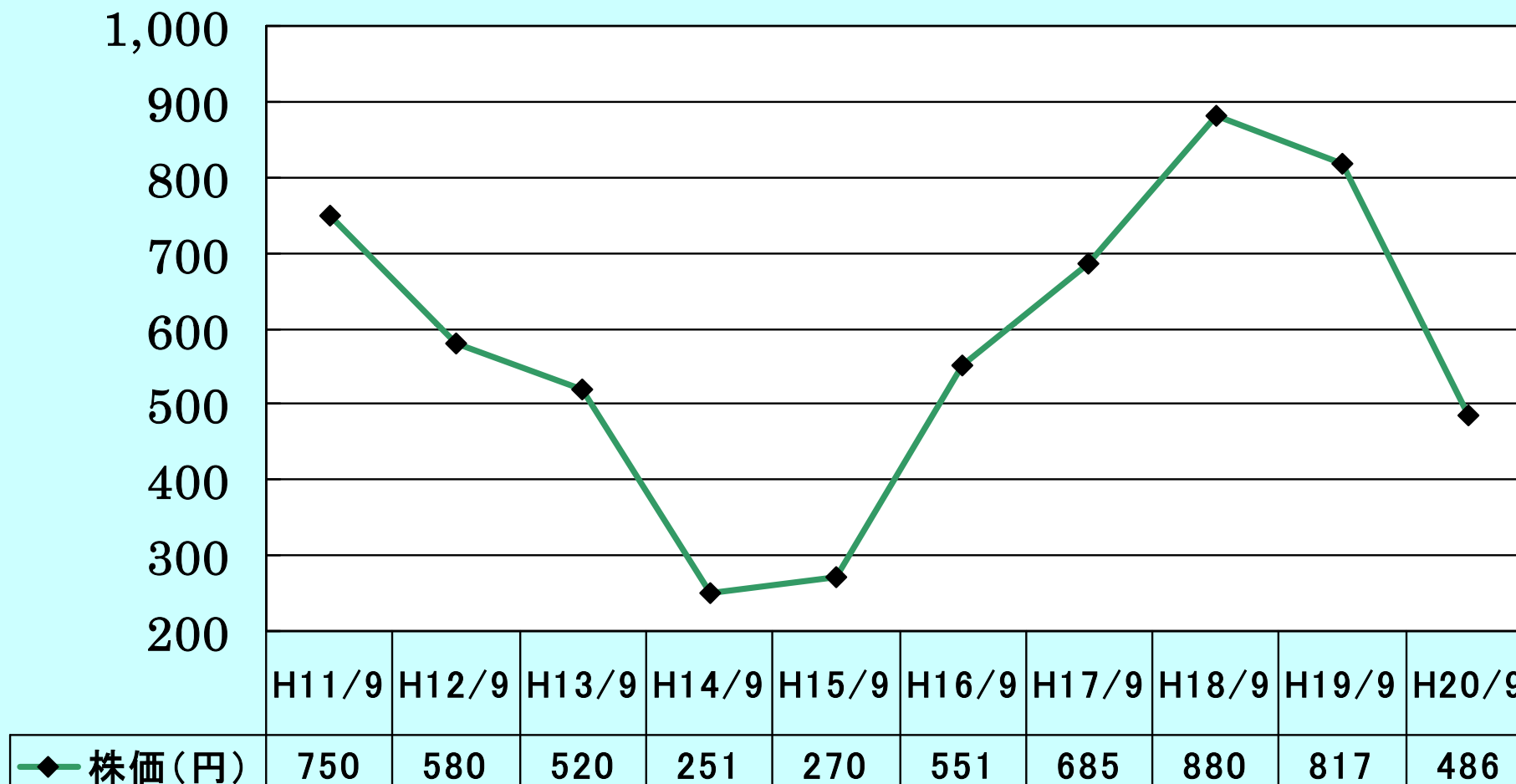
【有利子負債の推移】



■ 有利子負債(億円)

32.1	27.6	23.1	21.2	15.5	10.0	8.3	6.0	-	-
------	------	------	------	------	------	-----	-----	---	---

【株価の推移】



【1株当たりの年間配当額の推移】

当社グループは、株主の皆様への利益還元重視の姿勢をより明確にすることを目的として、業績に連動した配当を実施すること基本方針とし、当期純利益の40%以上の配当性向を実行することとしております。

しかしながら、当期の通期業績予想（単体）で当期純損失が181百万円となる見込みであることを勘案し、期末配当を見送らせていただく予定でおります。

株主の皆様には誠に申し訳ありませんが、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

